

子供の理想なお手伝いを実現するデザイン提案

Design Proposal to Implement Children's Ideal Chores

若松佳代子 WAKAMATSU Kayoko

2014 年入学 | 工業設計学科 Department of Industrial Design

分類:卒業研究
作品/論文:作品
制作年度:2017年度
課題概要:プロダクト



図1 男の子用掃除機「VIBRASER」の使用シーン

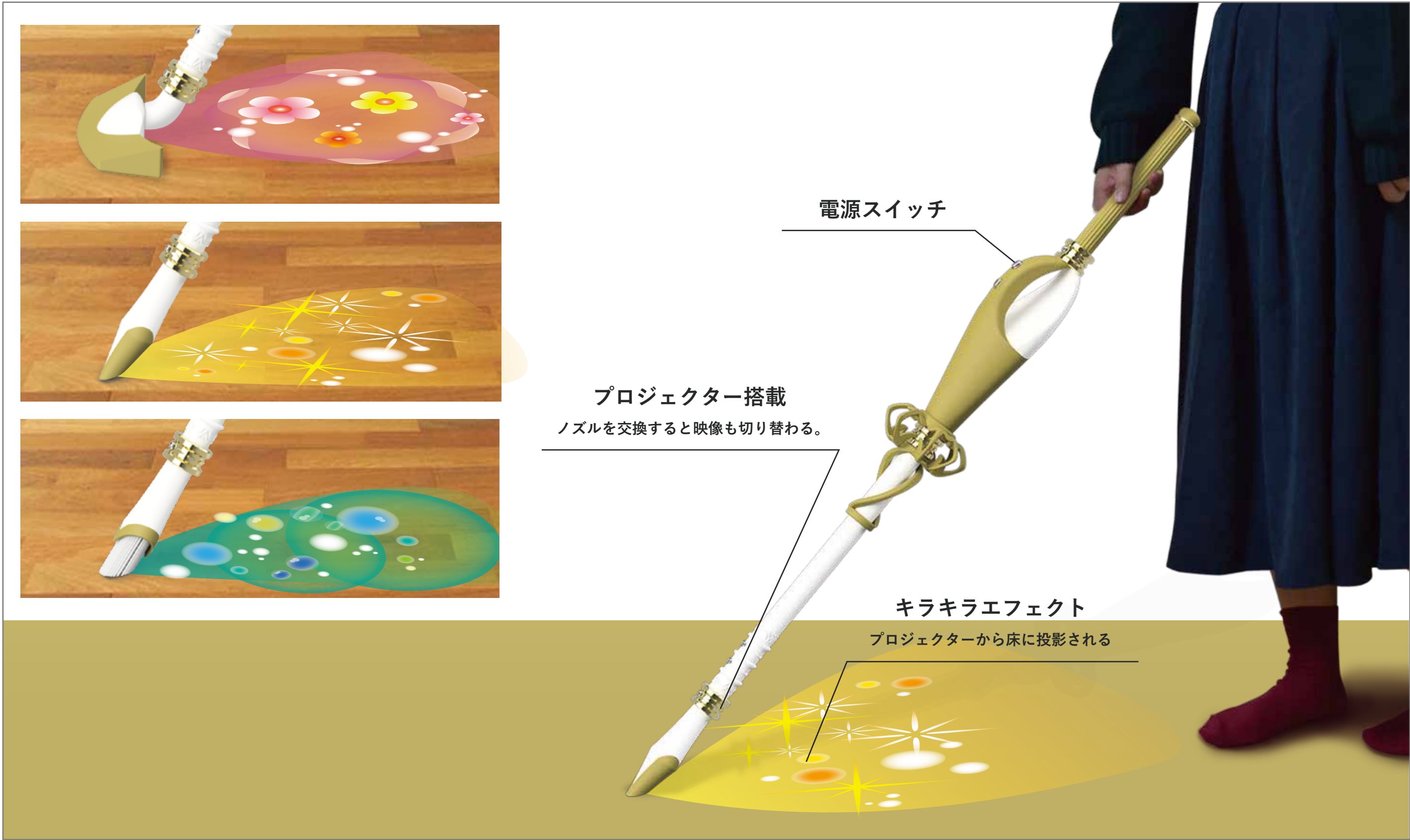


図2 女の子用掃除機「Twinkle rod」の使用シーン



図3 製作した1/2スケールモデル

【背景と目的】

お手伝いは、「自尊感情の育成」「自立のためのスキル獲得」など、子供の成長にとって重要な役割を果たしている。一方、親の時間や子供の興味に左右されるなど、課題も多いと考えられる。アンケート調査から、小学校高学年では低学年に比べ、お手伝いへの意欲が低下することが分かった。そこで、能力が成熟しお手伝いの効果も上がる小学校高学年を対象として、子供が意欲的にお手伝いに取り組めるデザインを実現することにした。

【要件とコンセプト】

ヒアリング調査から、10～12歳の子供の意欲を引き出すためには、「成果が見えること」、「子供が工夫できること」が必要であることが分かった。そこでコンセプトを「成果がより見えやすく、工夫が楽しくなる掃除機」とし、「ゴミを吸った時にフィードバックがある」、「ノズルを工夫すると掃除機の仕様も変化する」の二つを要件として設定した。本研究では男女の興味対象の違いを踏まえ、男女別で一台ずつ新たな掃除機を提案することにした。

【提案】

アクションヒーローアニメや戦隊ヒーローシリーズなど、戦いに強い興味があると考えられる男の子に対しては、「ゴミと戦う」をコンセプトに「戦う掃除機-VIBRASER」を提案する。この掃除機は、腕に身つけて武器のように使う仕様となっており、ゴミの吸引時には振動と赤色ライトの点灯によりフィードバックを得ることができる。また、中でノズルを操作できたり、ノズルによって操作時の機能が変化したりと、工夫が楽しくなる仕組みが満載の掃除機である。

セーラームーンやプリキュアをはじめとする魔法少女アニメが人気の女の子に対しては、「部屋を綺麗にする魔法をかける」をコンセプトに「魔法の掃除機-Twinkle rod」を提案する。この掃除機は、延長管の裏側にプロジェクターが搭載されており、吸ったゴミの量に合わせてキラキラエフェクトが床に投影される仕様となっている。また、ノズルの交換によって投影されるエフェクトも変化するので、様々な魔法をかけているような気分が楽しめる。